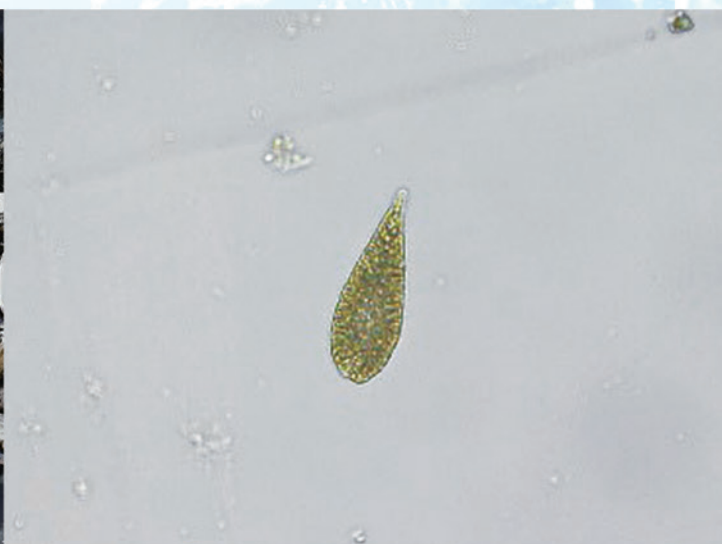
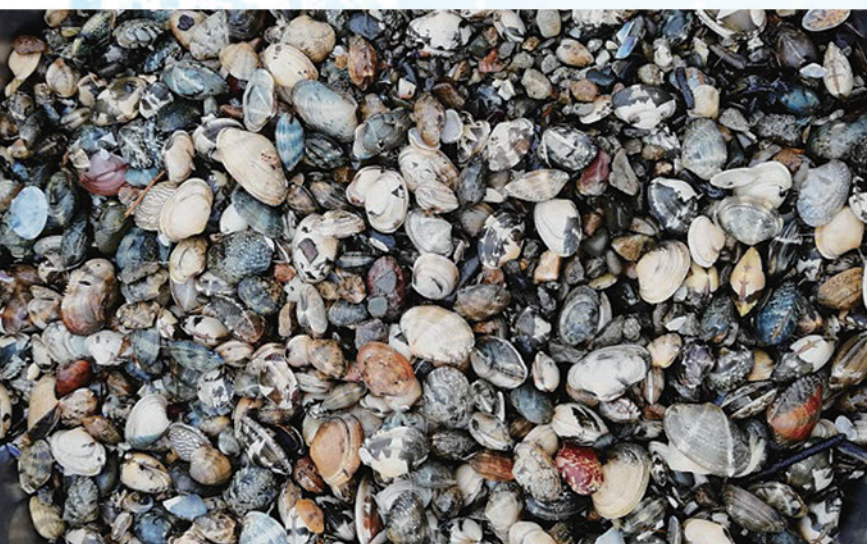


我が国の水産資源に影響を与える 九州地域の水圏生態系



日時

2025年 **12月7日** 日

受付開始9:15 開会9:30 閉会12:00

参加費

無料

会場

くまもと県民交流館 パレアホール

熊本市中央区手取本町8-1 テトリア熊本ビル9階 鶴屋東館

主催

熊本県立大学 環境共生学部

お問い合わせ

環境資源学専攻 一宮睦雄・小森田智大
熊本市東区月出3丁目1番100号

TEL:096-321-6714
FAX:096-384-6765

プログラム

開会あいさつ…… 白土 英樹 (熊本県立大学 環境共生学部 学部長)

趣旨説明…… 小森田 智大 (熊本県立大学 准教授)

講演

- ①「熊本県の干潟におけるアサリ漁獲量の激減と
近年の気候変動に伴う環境・生態系の変化の影響」 …… 堤 裕昭
(熊本県立大学 学長)
- ②「有明海の二枚貝資源が減少した理由を探る」 …… 山田 勝雅
(熊本大学 准教授)
- ③「熊本県による水産研究 ～赤潮研究を中心に～」 …… 生嶋 登
(熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部長)
- ④「水産資源変動のジグソーパズルを解く
～黒潮パラドックスと黒潮レジームシフト～」 …… 小針 統
(鹿児島大学水産学部 教授)
- ⑤「アジ、サバ、イワシ類の
産卵場および成育場としての薩南海域の重要性」 …… 久米 元
(鹿児島大学水産学部 准教授)

閉会あいさつ…… 一宮 睦雄 (熊本県立大学 教授)

趣 旨

我が国の水産資源は、黒潮流域の沿岸域から沖合域で生活史を送る魚介類に強く依存しており、その基盤となる生態系の群集構造や生産力に関する理解は極めて重要です。一方で、有明海や八代海といった内湾では、アサリやタイラギなどの貝類資源、さらには赤潮や海苔養殖など熊本の水産業に直結する環境変動が大きな課題となっています。いずれの海域においても、複雑な食物網を介した資源への影響を統合的に理解することは容易ではありません。

本フォーラムでは、黒潮と隣接する沿岸域に関する研究成果と、有明海・八代海のアサリ・タイラギ・赤潮・海苔などの研究成果を集約し、プランクトン・ベントス・ネクトンを通して水産資源への影響について最新の知見を紹介します。



会場アクセス

- 熊本駅から …… **市電**: 健軍方面行「通町筋」下車→約20分
バス: 桜町バスターミナル経由「通町筋」下車→約20分
- JR新水前寺駅から …… **市電**: 熊本駅または上熊本駅方面行「通町筋」下車→約10分～15分
- 熊本空港から …… **空港リムジンバス**: 「通町筋」下車→約45分
- 熊本ICから …… **車**→約35分

(13時から会議室7にて学生による研究会発表会も行っていますので、ご希望がありましたらお申し出ください。)